

教科	数学科	学年	第2学年	担当者	笹鼻 邦彦 十津川 壮太
----	-----	----	------	-----	--------------

【教科目標】

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさやよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

教科書 : 新しい数学2年(東京書籍)
 教材 : みんなの学習クラブ、

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい(身につけたい力)	準備物
1 学 期	1章 式の計算	○事象の中に数量の関係を見出し、文字を用いて式に表し、活用が出来るようにするとともに、文字を用いた式の計算ができる。 ・ 整式の加法、減法および単項式の乗法、除法の計算ができる。 ・ 文字式を利用したり、目的に応じて式を変形させたりすることができる。	教科書 ノート ファイル iPad
	2章 連立方程式	○連立方程式について理解し、それを用いることができる。 ・ 連立方程式の解の意味を理解し、連立方程式を解くことができる。 ・ 連立方程式を利用して、問題を解決することができる。	
2 学 期	3章 1次関数	○具体的な事象から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、1次関数について理解することができるようにするとともに、関数関係を見出し表現し、考察することができる。 ・ 表、式、グラフを用いて、1次関数の特徴を調べることができる。 ・ 事象の中にある1次関数を見出し、表現することができる。 ・ 具体的な事象の考察に、1次関数を活用することができる。 ・ 2元1次方程式を、関数を表す式と見直すことができる。	教科書 ノート ファイル iPad 定規
	4章 平行と合同	○観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見出し、平行線の性質や三角形の合同条件をもとにして、それらを確認することができる。 ・ 平行線や角の性質にもとづいて図形の性質を調べることができる。 ・ 多角形の角についての性質を見出すことができる。 ・ 証明の意義と方法を理解することができる。 ・ 図形の合同の意味を理解し、三角形の合同条件を見出し、それを活用できる。	
3 学 期	5章 三角形と四角形	○平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、論理的に考察することができる。 ・ 三角形や平行四辺形の性質を見出し、確かめることができる。	教科書 ノート ファイル iPad 定規
	6章 確率	○具体的な事象の観察や実験を通して、確率について理解することができる。 ・ 起りうる場合を順序よく整理することができる。 ・ 確率の意味を理解し、簡単な確率を求めることができる。	
	7章 データの比較	○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ・ データを整理し箱ひげ図で表すことができる。	

【評価の観点と評価の方法】(通知表のつけ方)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりしている。	○数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
評価の方法	○単元テスト ○小テスト ○学習の様子(ペア・小班学習)	○単元テスト ○小テスト ○学習の様子(ペア・小班学習) ○レポート、振り返り課題	○授業の様子 ○レポート、振り返り課題

【授業の受け方・学習のポイント】(担当の先生からのアドバイス)

1 何ができるようになるか
 毎時間提示する本時の目標を達成することで、数学的な力が高まっていくように授業を組み立てます。今日は何ができるようになればいいかを大切にしましょう。

2 どのように学ぶか
 目標の達成を、仲間とともに励みましょう。自分ができたらそれで終わりではなく、「みんなができる」を目指します。困っている人に手を差し伸べたり、仲間に頼ったりすることも立派な数学の力です。

3 何ができるようになったか
 目標に対する評価を先生は行います。成績にあたるものですが、成績は「内申点」と言われるものばかりに目が行きがちです。先生たちは評価を通して、次の学びの意欲を引き出したり、アドバイス等を行いたいと思います。皆さんも次の学びの目標が持てるよう、自分は授業で何ができるようになったかを振り返られるといいですね。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】(担当の先生からのアドバイス)

「分からない」は学びのチャンス! 「分からない」と出会うことは苦しいことではないと感じられるように先生たちが頑張ります。家で出会った「分からない」を学校で仲間と解決すればいいのです。

